

整理番号 J03279

発送番号 571472

発送日 平成20年 9月24日

拒絶理由通知書

特許出願の番号	<u>特願 2 0 0 3 - 3 5 2 1 7 9</u>		
起案日	平成 2 0 年 9 月 1 8 日		
特許庁審査官	山崎 慎一	9 1 7 4	5 E 0 0
特許出願人代理人	棚井 澄雄 (外 6 名) 様		
適用条文	第 2 9 条第 2 項、第 3 6 条		

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものです。これについて意見がありましたら、この通知書の発送の日から 6 0 日以内に意見書を提出してください。

理 由

A. この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前日本国内又は外国において頒布された下記の刊行物に記載された発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第 2 9 条第 2 項の規定により特許を受けることができない。

記 (引用文献等については引用文献等一覧参照)

- ・請求項 1, 6, 7
- ・引用文献等 1 ~ 4

・備考

透明基板及び透明電極に凹凸を設けてニュートンリングの発生を防ぐことは引用例 1 乃至 3 に記載のとおり周知技術に過ぎず、引用例 4 には、ダミー電極のような畝部を形成して同じくニュートンリングの発生を防ぐ効果があることが開示されているから、これらの技術に基づいて本願請求項 1、6 及び 7 に係る発明をなすことは当業者にとって容易である。（例えば引用例 1 に記載の凸部（図 3 等参照）は断面多角形状の突条がその延長方向で断続的に形成されているといえる。）

B. この出願は、特許請求の範囲の記載が下記の点で、特許法第 36 条第 6 項第 2 号に規定する要件を満たしていない。

記

・請求項 2

・備考

「互いに異なる角度で傾斜した複数の面からなる断面多角形状の突条」とする形状が不明確である。

・請求項 3～5

・備考

「畝部の形成ピッチ」、「畝部の高さ」、「抵抗膜の厚み」がそれぞれどの部分の寸法を言うものか明確でない。（請求項 5 は請求項 5 を引用しており不明確である。）

よって、請求項 2 乃至 5 及びこれらを引用する請求項 6 乃至 8 に係る発明は明確でない。

拒絶の理由が新たに発見された場合には拒絶の理由が通知される。

引 用 文 献 等 一 覧

1. 特開2002-287902号公報
 2. 特開平11-250764号公報
 3. 実願昭63-158071号 (実開平02-079530号) のマイクロフィルム
 4. 特開昭64-017115号公報
-

先行技術文献調査結果の記録

・調査した分野 I P C第8版 G 0 6 F 3 / 0 3 3

D B 名

・先行技術文献

特開平10-003079号公報

特開2000-207127号公報

特開平06-139005号公報

特開平06-043310号公報

特開平08-281856号公報

特開2004-005094号公報

この先行技術文献調査結果の記録は、拒絶理由を構成するものではない。

この拒絶理由通知の内容に関するお問い合わせ、または面接のご希望がございましたら下記までご連絡下さい。

特許審査第四部 インターフェイス 山崎 慎一

T E L . 0 3 (3 5 8 1) 1 1 0 1 内線3520

F A X . 0 3 (3 5 8 0) 6 9 0 7